

令和5年度 学長裁量経費「教職実践力向上重点研究費」

「ジェンダーと多様性」ブックプロジェクト 成果報告書

2024年5月

1. 研究の目的

本研究の目的は、愛知教育大学及び附属学校園において、「ジェンダーと多様性」について大学生、幼児、児童、生徒が学び、考え、経験する環境整備を行うことである。このテーマは近年、教育現場を含め社会的に大きな関心を集めており、研究面での進展も著しい。本学では 2021 年度から教師教養科目の一つとして「ジェンダー・セクシュアリティと教育」の授業を開講しており、学生たちの関心も高い。その一方で、ジェンダー平等、性の多様性等のテーマに対して戸惑いをみせたり、学校現場で子ども・青年たちと対する時に、どのような姿勢で、何を、どのように教えるのかについて、不安を表明したりする学生の反応もある。

本研究では、学系を超えたチームによる共同作業によって、研究と社会動向を理解したうえで、「ジェンダーと多様性」に関する最新および重要な図書、教材を選定し、リストを作成し、その上で大学および附属学校園の関連部門と協議をし、図書等を購入、図書館等に配置・設置した。なお、「ジェンダーと多様性」というとき、ジェンダー平等や性の多様性の論点に限らず、生物学の立場から性差をどうとらえるか、生物多様性など、テーマを幅広くとらえて、学系を超えたチームによる情報交換、意見交換をしながらプロジェクトを推進した。

本研究はまた、大学の男女共同参画推進に資する内容を含んでおり、プロジェクト推進にあたり、男女共同参画部門と適宜、情報交流をしながら進めた。

1. 研究体制

研究体制は以下の通りである。

2.1 研究メンバー

山根 真理 (家政教育講座、代表)
高橋 靖子 (心理講座、共同研究者)
福田 泰久 (外国語教育講座、共同研究者)
常木 静河 (理科教育講座、共同研究者)
村松 愛梨奈 (保健体育講座、共同研究者)

2.2 公募分野と経費

公募分野：教育改善分野
経費：50 万円

2. 研究方法

研究の方法は、以下の通りである。

3.1 「ジェンダーと多様性」に関するブックリストの作成

研究会を開催し協議しながら、「ジェンダーと多様性」に関する最新及び重要な図書、教材のリストを作成する。

3.2 大学、附属学校園用の図書、教材の選定と配架・設置

3.1 のリストを附属学校園で参照してもらい、附属学校園の教職員、生徒等の希望を受けて図書等を選定し、配架・設置をする。あわせて大学図書館用の図書を選定、図書館等に配架・設置する。

4. 研究成果と今後の展望

本研究の成果は、大学教育の質向上、附属学校園の教育への貢献、ブックリストの公表による社会貢献の三点に要約される。

4.1 大学教育の質向上

「ジェンダーと多様性」にかかわる最新および重要な図書を 82 冊選定し、図書館に配架・設置し、大学教育の質を向上させる一助とすることができた。図書館と協議し、2024 年 4 月から 5 月末まで、図書館に「ジェンダーと多様性」本のブックコーナーを設置し、利用者の目に触れる環境をつくっていただいた。

今後、図書の貸し出し状況やブックコーナーへの学生の反応など、図書館職員へのヒヤリング等を通して把握していく。



写真 1 図書館のブックコーナー (2024 年 4 月 24 日)

4.2 附属学校園の教育への貢献

附属学校園と協議し、7校園の関連部門において、プロジェクトから提示したブックリストを参考にして「ジェンダーと多様性」に関する図書、教材を選定してもらった。各学校園における購入図書冊数、教材は表1の通りである。プロジェクトが推薦したリスト以外の図書、教材の購入希望もあり、テーマに対する関心の高さが伺えた。図書、教材の選定にかかわってくださったのは、教頭先生、図書部門担当の先生の場合が多かったが、図書委員の生徒がリストから選定する学校もあった。

表1 各学校園における購入図書冊数、教材

	図書（冊数）	教材
附属幼稚園	20	人体パズルの玩具
附属名古屋小学校	21	—
附属名古屋中学校	19	—
附属岡崎小学校	21	—
附属岡崎中学校	19	—
附属特別支援学校	22	—
附属高校	23	—

附属学校園に図書、教材を届けた時期が2024年2～3月であったため、附属学校園の日常の教育実践において使用中で得られる効果については、今後の検証課題である。2023年度に行われた実践としては、2024年3月に附属岡崎中学校1年生の保健体育科の授業「多様な性と向き合う（心身の発達と心の健康）」において、本プロジェクトで購入した図書を使用していただき、本プロジェクトメンバーも授業参観させていただいた。2024年度以降も引き続き、附属学校園の教育実践で使用するなかでの効果について、ヒヤリング等の方法で検証を続ける。

4.3 ブックリストの公表

附属学校園における独自の希望図書等を加えたブックリスト（添付資料）を、ホームページで公表する予定である。リストに加え、プロジェクトメンバーによる「わたしのお薦めこの一冊」コーナーも設けた。

ブックリスト公表にあたり、本学の男女共同参画部門と協議しながら進める。

【謝辞】

本プロジェクト推進にあたり、附属学校園の先生方に大変お世話になりました。また、附属学校課、附属図書館、人事労務課のご協力をいただきました。記して、感謝申し上げます。